計

合

特定財源

0

21,566

21,921

21,921

29,103

## 事務事業評価表

平成14年度 主要事業計画対			対象の	象の有無   無 ▼				電話 042 ( 769 ) 8345						
担当部課名 保健所				▼ 地域保健 課 ▼					母子保健企画   班 ▼					
	事業名	口腔衛生	生事業							事業	∐  -  ⊀	1:	2220	
	画における化		_		/1 \	T-1-4	L -> 17-	h === 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<del>- \                                   </del>			1 == 31	4884 <i>6</i>	
政策名 第2章   基本施策名 第2 節					生涯にわたる健康づくりを進め						<b>)</b>	事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事	<b>養開始年度</b>	
	名	第	2 施策	市民健康づくりの特殊を表現している。								▼ 年度		
2 実施根	2 実施根拠及び関連法令等													
相模原市	相模原市保健事業実施要綱													
3 事業概	 要													
(1)事	業の目的											対象(誰		
												・児童・	成人・高齢	
	、在宅歯科 祉施設等の							『を美肥り	ට <sub>ං</sub> ද	また、	者			
							- 0							
											対象数	13,	500人	
(3)平	成13年度事	業の内容	F			(	(4)	総合計画・	実施	計画に		概要		
継続歯	科健康診査		1,224											
特別歯	枓相談 養者等訪問		112名 56代											
	科衛生士研		2 🗓											
	患者指導		3 [		88 \									
子仪出	科巡回指導		11,699人	(53日	间 )		(5)	個別計画	可相	<del>1 ==</del>				
決算額		_							<u>и V У Г</u>	从女				
賃金 報償費	200,00 633,00						計画年次 年度~ 年度							
需要費														
合計	1,713,00	0円												
4 <del>*****</del> /*** 4**	· 1==													
4 評価指	<b>「標</b>													
 指標名														
指標式														
指標設定														
の意図														
					平成12年度		平成13年度(評価対					平成	平成14年度	
指	<del></del>	実	績		実績		実	績	L.	目	標	目	標	
指標指標							a C		b d					
指標							е		f					
決算	(予算)額				1,	358		1,713			1,713		5,779	
事し人員・時間数					2.4人			2.4人		2.4,		2	.8人	
						208		20,208		۷. ٦,	20,208	<u>2</u>	23,324	
業	の他経費				,			·						

	個別評価									
(1)達成原	g・・・ 目標をどれだけ達	成したか	١							
評価	A:達成している ( 100%)									
A 🔻	B:一部達成していな	し1(100%>	80%) = ,	80%) = 、、 の平均値 =						
	C : 達成していない	C : 達成していない (80%> )								
а	100		С	-× 100=		e100				
b	× 100=		d	<del>c</del> × 100=						
	制度内の数値をもって目	標とすべ	き類のものではない。							
理由:										
	上・・・・時代変化に適応した事業内容か									
評価		理由:	市民が年齢や健康状態に応じて適切な歯科保健行動を取り、より快適な生活を 培うために必要である。							
A 🔻	B:一部適応していない									
/ 2 / 4マ:女形		C:適応していない # P **********************************								
(3)経済(3) <b>評価</b>	±·効率性・・・費用対効果は妥当か  A:妥当である <b> 理由: </b> 市民の歯科保健行動が高まり、口腔の清潔が維持されると医療費の経費削減									
at imi A <del>▼</del>	B:一部妥当でない <b>理</b> 日		市民の歯科保健行動が高まり、口腔の清潔が維持されると医療費の経費削減が図られる。							
	C:妥当でない		ル·囚い1 v ⊗。							
(4)事業(	D代替性・・・県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か									
						携して行うことが望まれるため、保健所か				
В 🔻	B : 代替の可能性低い	- <b>-</b>	他機関との連携のもとですすめて効果があり、代替の可能性は低い。							
	C:代替の可能性高い									
(5)市民活	≒足度・・・対象市民のネ	満足は得	られているか							
評価	A:満足できる	理由:	市民へ歯科保健サービスを提供することにより、自主的に予防行動がとれる市							
A -	B:一部満足できない		民や口腔機能の発達維持に努める市民が増えている。							
	C:満足できない		<b></b>							
	生・・・当該事業は上位の									
評価		理由:		けべての市民が8020運動(80歳で20本の自分の歯を保つ)を進めるためには、						
A   🔻	B:一部有効である		本事業は有効である。							
	C:有効でない			<del>*</del> #*	ᄉᆘ					
評価ハ	ブランスチャート <sup>達成</sup>	龙度		成果向上の急	-					
нтішт	A			_ +		説明:				
	В.			<b>☑</b> あ		他機関や他事業との連携を強化した事業を関する				
	有効性 人	•	必要性	口なし		業展開を検討する余地がある。				
	C -	د -		□なし	۱۱ <b>ا</b>					
		<		」 □スト改善余地						
		*		コハー以口が	説明:					
	C -	- >		<b>⊽</b> あ						
市民満足度			経済性·効率性			市民に普及啓発をすすめる余地があ				
	<b>D</b>			口なし		る。				
	A -	-			-					
	事業の	代替性								
			継続歯科健康診査、	成人歯科健康	診律	な、在宅療養者等訪問の事業は、県内				

	щ		
評価	AA ▼	他自治 体の類 似事業 との比	継続歯科健康診査、成人歯科健康診査、在宅療養者等訪問の事業は、県内の保健所で行われている。学校歯科巡回指導は、県内では横浜市、横須賀市、
			平塚市、伊勢原市で実施している。
今後の進め方		較	
V	継続		
<u>  •   •   •   •   •   •   •   •   •   •</u>	,,	4	県内でも歯科保健啓発が積極的に進められている中で、本市では、今後歯科
	見 直 し		保健思想の普及啓発を図り「健康日本21」における歯科保健の目標達成に向け 実施する必要がある。
	廃止	説明	
	完 了		

8二次評価における変更点